

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

## 目次

科学技術、メディア、通信および生活科学市場の動向	2
週間ハイライト	
国際	3
韓国	3
中国	4
台湾	4
シンガポール / マレーシア	5
香港	5
米国 / カナダ	5
欧州	6

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現もいたしません。

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

## 科学技術・メディア・通信（TMT）及び生活科学市場の動向

### ナスダック/ニューヨーク証券取引所：TMT及び生活科学関連新規公開申請

申請日	発行体	業種	規模 (百万米ドル)	内容	主幹事	幹事

### アジア株式市場：TMT及び生活科学関連新規公開株価推移

申請日	発行体（取引所）	業務内容	規模 (百万米ドル)	公開価格	2003年9月 5日の 株価	公開価格比 騰落率%
2003年 9月3日	台北マルチパワー 電子 (6248.TT) (グレイタイ)	変圧器とコイルの製 造及び販売。	1.8	20 台湾ドル	24.3 台湾ドル	21.5%
2003年9 月3日	ウィンテスト (6721.JP) (東証)	フラット・パネル・デ ィスプレー（FPD）用 テスト機器の開発、設 計及び製造。	8.3	750,000 円	2,530,000 円	237.3%

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

## 週間ハイライト

### 国際

#### ハードウェア

- **世界のハード・ディスク保管システムの売上高は第二四半期に前年同期比で 3.9%減少。**法人需要の重要な指標。法人のサーバー投資の約半分は保管システム。北米で増加したがアジアで減少した。

#### メディア、娯楽、ゲーム

- **ソニーは来春米国と欧州でインターネット音楽サービスを開始する予定。**サービス名は「ネット音楽ダウンロード・イニシアチブ」。マイクロソフトのウィンドウズ OS で稼動する。

#### モバイル/無線通信

- **来年の携帯電話売上台数は 3G 携帯電話とカメラ内蔵携帯電話の出荷増で 8%増加する見込み。**今年の売上台数見込みは 4 億 6000 万台で、2004 年は初めて売上台数が 5 億台を上回る見込み。

#### ソフトウェア

- **製造業に対しての法人用ソフトウェア大手のロス・システムズ (RS) を CDC ソフトウェアが約 6890 万米ドルで買収すると発表。**RS の 6 月末決算は売上高が 4810 万米ドル、純利益が 410 万米ドル。

### 韓国

#### ハードウェア

- **ハイニクス半導体はシティグループを含めた買い手とメモリー事業以外の部門の売却について交渉中。**ハイニクスは特にシステム IC 部門の切り離しを考えている。

#### IT

- **多くの外国研究機関が拠点を築き、韓国を研究開発拠点にする韓国政府の試みは成果が上がっている。**インテル、フランスのパスツール研究所、ロシアの国立光学研究所が拠点設立を決定した。

#### メディア、娯楽、ゲーム

- **プレナス・エンターテインメントはゲーム・ポータル・サービス・プロバイダーのネットマーブ**

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

ルとの合併手続きを完了。両社の時価総額合計は 5800 億ウォン（4 億 9300 万米ドル）。

## モバイル/無線電話

- 韓国政府が無線ネットワーク社会基盤を開放するものの、韓国の小規模オンライン・ポータル業者は携帯インターネット・サービスに対し慎重。2004年には4兆7000億ウォン市場となる見込み。
- 三星電子は第二四半期に1130万台の携帯電話を販売し世界第三位になった模様。三星電子の売上は前年比で16%上昇した。市場占有率は前年比で0.2%上昇し、9.9%となった。
- LG電子は今年1月からの7ヶ月間で1340万台の携帯電話を世界で販売し、前年同期比で63%の増加。米国とインド向け輸出が増加した。7月単月の売上台数は250万台とこれまでの最高となった。

## 半導体

- 急成長の無線チップ市場で市場占有率を上げるためハイニクス半導体は携帯電話用メモリー業務を強化。64メガバイトのスピードSRAMとNANDフラッシュ・メモリーを1年以内に開発する。

## 通信

- 韓国通信省は小規模携帯電話会社の競争力維持のためSKテレコムに対してネットワーク使用料金を上げる新方針を導入。SKテレコムはKTFとLGテレコムに比較して市場支配力が強力。

## 中国

### ハードウェア

- 京セラは中国でのPHS業務拡大を計画。日中での合計生産台数は月産95万台に拡大し、年内に高性能品種を投入する。中国でのPHS生産台数は今年度に前年度比約4倍の600万台とする。

### モバイル/無線通信

- 中国のハイテクにおける新規格制定の動きは継続中で、世界主要国と伍していく願望をもっている。3Gとデジタル・テレビで独自規格に着手し、DVD等でも独自規格を作り上げる予定。

## 台湾

### 半導体

- 台湾半導体製造（TSMC）は第三四半期のウェーハ出荷見込みを上方修正。前期比で10%増加と

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

見込みを上方修正した。

## シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

通信

- シンガポール・テレコムが海外の電話会社に対し課金している市内データ回線料金はシンガポール人のためになっていないと米国通信業界の関係者はシンガポール政府に対し不満を投げかける。
- シンガポール・テクノロジー・テレメディアの2億5000万米ドルにのぼる破産したグローバル・クロッシング買収提案は9月後半に受諾される見込み。現在外国投資委員会がこの件を審査中。

## 香港

通信

- PCCW はインターネットを通じてのテレビ番組配信を開始。1チャンネル数ドルで23チャンネル配信する。年末迄には更に少なくともあと10配信チャンネルを増加させる予定。

## 米国/カナダ

ハードウェア

- ベリゾン・ワイヤレスはノーテル・ネットワークに対し3年半にわたる10億米ドル相当のネットワーク機器供給契約を発注。音声及びデータ・ネットワークを改良する。
- ヒューレット・パカードは10月末迄の第四四半期売上高が前期の174億米ドルと比較し8-10%増加するとの先の見通しを再確認。ウェブ・サービス・ソフトウェア供給業者の買収も発表した。

インターネット

- インターネット利用者がウェブ・アドレスを誤って入力した場合にも AOL やマイクロソフトは収益源にしている。こうした場合でも広告が表示されることが多い。
- マイクロソフト以外の簡易メッセージ利用者は10月15日からMSN メッセンジャーに接続できなくなる可能性がある。他の簡易メッセージとの互換性がなくなる。
- ホテルズ・ドット・コムはトラベロシティとの関係を絶ち、関連会社で首位の旅行サイトである

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

エクスペディアと協力する。両社はインターアクティブの傘下にある。

メディア、娯楽、ゲーム

- ビベンディ・ユニバーサル取締役会は米国の映画及びテレビ業務を GE の NBC 部門と合併させる案件を発表する可能性あり。合併契約締結にはあと一ヶ月ほどかかる見込み。

半導体

- ナショナル・セミコンダクターの8月24日迄の第一四半期は純利益が2970万米ドルと前年同期の130万米ドルから急増。売上高は4億2480万米ドルで前年同期の4億2060万米ドルから微増。

ソフトウェア

- マイクロソフトは独占禁止法違反でビー社に対し2330万米ドルを支払うことに合意。マイクロソフトはコンピューター製造会社がビー社のOSを利用しないように交渉したとされるもの。
- ピープルソフトは今年と来年の売上高及び純利益見通しを上方修正。JD エドワーズ買収で売上高の増加が見込め、費用削減効果も出てくると見られるため。

通信

- 地域電話会社と従業員組合は連邦通信委員会に対し新制度実施を延期するよう要望。新制度では地域電話会社が自前のネットワークを大幅割引でMCI等にリースし続けなければならない。
- クエスト・コミュニケーションズの第二四半期決算は市内電話業務が激しい競争にさらされ9100万米ドルの赤字。売上高は36億米ドルだった。前期の純利益は1億2800万米ドル。

## 欧州

ハードウェア

- フィリップス・エレクトロニクスはアジアの業者に対するチップ生産外注を現在の10%から50%に増加させる予定。台湾半導体製造（TSMC）の受注が増加する。

モバイル/無線通信

- LG 電子はボーダフォンと契約し英国の GSM 携帯電話市場に参入。LG はボーダフォンに対して LG-G53001i を供給する。

通信

## IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年8月31日から9月6日の週

- テレコム・イタリアの上半期純利益は前年比で 23%減少し 9 億 9300 万ユーロ（11 億米ドル）。売上高は 6.7%増加し 55 億ユーロ（60 億米ドル）、営業利益は 8.4%増加し 18 億ユーロだった。